

新年のごあいさつ



大治町長
岩本 好広

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、社会経済状況が依然として低迷する一方で、ロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍に日本中が沸いた年でもありました。

本町においては、大規模地震や浸水被害に備えるため、小中学校、コミュニティセンターのガラス飛散防止フィルムの設置や災害用備蓄品の確保、準用河川小糠田川の改良工事など防災・減災事業を最重点施策として進めてまいりました。

また、中学生までの子ども医療費の無料化、小学校の長期休み期間における児童クラブの早朝保育の開始、認定こども園建設補助など子育てしやすい環境づくりや、不登校児童生徒を支援する適応指導教室（トラスティ）の開設など次世代を担う子どもたちのため、より良い学習環境を整えてまいりました。

さらには、二年にわたって準備を進めてまいりました「大治町文化財フェア」を盛大に開催することができ、本町の素晴らしい歴史文化を多くの皆様にお伝えすることができたと感じております。これもひとえに皆様の深いご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

本年は、東海・東南海・南海地震を想定した災害に対応するための防災対策、砂子第一排水機場における排水能力を高めるためのポンプの入れ替えや、準用河川小糠田川の更なる整備促進など、町民の皆様の安全・安心の充実に全力を注いでまいります。

また、オープンな景観と潤いのある水辺空間を有効活用した河川敷の公園整備や、子ども・子育て会議の設置をはじめとする子ども・子育て支援事業をより一層進めてまいります。

これらの取り組みを通じて、夢と希望の持てるまちづくりを実現してまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が町民の皆様にとって幸多き年になりますよう祈念いたします。新年のごあいさついたします。

平成25年 元旦

新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、長期化する円高、中国等をめぐる対外環境の変調、東日本大震災からの復興、エネルギー政策の転換など、国内外の様々な課題が山積する中、愛知が、日本のど真ん中から国を支え、引っ張っていくとの決意のもと全力で県政運営に当たってまいりました。

今年は、さらに、明るい希望が持てる、活力と豊かさに満ちた愛知づくりに邁進してまいりたいと思っております。

このため、世界と闘える愛知の実現に向け、昨年4月創設の産業空洞化対策減税基金を活用した企業立地や研究開発に対する支援、基幹産業である自動車産業の競争力強化、航空宇宙産業を始めとする次世代産業の育成・振興、そして、すそ野を支える中小企業の振興など、日本一の産業力に一層の磨きをかける取組を積極的に推進してまいります。

また、観光や農林水産業についても、愛知の強み・特色を生かした更なる活性化を図るとともに、道路等の社会基盤整備や東三河県庁を核とした地域振興などにも拍車をかけ、愛知の総合力をさらに高めてまいります。

さらに、南海トラフ巨大地震を想定した地震防災対策の強化、交通事故死者数全国ワースト1位の返上に向けた交通安全対策、少子高齢社会に対応した医療・福祉の充実など、県民の皆様の安心・安全な暮らしの確保にも力を注ぐほか、次代を担う子どもたちの教育、ものづくりを支える人材の育成など、元氣な愛知の基盤となる「人づくり」にもしっかり取り組みます。

さて、今年は、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」が開催されます。また、翌年には、「持続発展教育(ESD)」に関するユネスコ世界会議、「技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会」の開催も控えています。しっかりと準備を進め、地域の活力を生み出す原動力としてまいります。

引き続き、厳しい財政状況が続きますが、徹底した行財政改革を進めながら、愛知の更なる発展に向けて全力で取り組んでまいります。ですので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十五年 元旦

